

目標達成計画

作成日: 平成 23年 12月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	今年度は大きな災害があったばかりで、またこれからも火災や地震や水害等災害の危険性もたかい。昼夜とも職員が少なく、特に夜間は一人の職員でとても不安がある。地域の方たちには協力を求めているが、実際にはかかわりはまだ少ない。	地域住民にGHとよしな敬老園の中も知ってもらい、かかわりをつくっていく。そして、いざという時には協力を仰いでいく。	GHで行う応急手当講習会(豊科消防署)や認知症研修や避難訓練等のお知らせを、区長や隣組に配り参加してもらう様に呼びかける。また、H24年4月の隣に新設のGHの開所には、地域の人たちに見学に来て貰い関心を深めていく。	12ヶ月
2	31	入居者はだんだん重度化・高齢化してきている。開所から利用している方もいて、家族はターミナルまで看取って欲しいと希望されているが、看取りについては経験も少なく、不安を感じる職員も多い。	マニュアルを学んだり、利用者・ご家族の意向を尊重し、医療と連携をとりながら、ターミナル期の介護を学んでいく。	スタッフみんなでマニュアルやターミナル委員会の方に教えてもらいながら、利用者・ご家族の気持ちをくみ取って、意識を高めながら、介護していく。GHでのターミナル期のケアプランにも積極的に参加し学んでいく。	12ヶ月
3	14	今年度始めて法人内のGHとの交換研修を行い学びあえた。が、安曇野市には7つのGHがあるというが、ほとんど交流がなく、単独で、マンネリになり易い。	同業者との交流を通し、資質の向上をめざす。	法人内のGHの交換研修を深め、ともに良いところを高めていく。安曇野市の同業者とも、声を掛け合って交流していき、情報交換していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。